

令和4年度北海道未来人財応援事業の実施状況等について

1 北海道未来人財応援事業

(1) 募集・選考結果

令和4年度「ほっかいどう未来チャレンジ応援事業」の募集を令和4年4月13日から開始。コロナ禍における留学環境に改善の兆しが見えたことから、応募者は昨年度より増え、学生留学コース12名、スポーツコース1名の計13名の応募があった。書面審査、面接1次、2次審査を実施し、最終的に5名を第5期生助成対象者として決定。

【募集期間等】

コース	募集期間	書面審査	面接1次	面接2次	最終決定
学生留学	4/13～5/13	5/19～5/25	6/9	6/22	6/27
3コース	4/13～5/13	—	6/9	6/22	6/27

【選考結果】

コース	応募者	書面・面接1次審査	面接2次審査	最終選考結果
学生留学	12名応募	7名通過	5名通過	5名※
スポーツ	1名応募	1名通過	1名通過	1名
計	13名応募	8名通過	6名通過	6名

※学生留学コース最終選考通過者5名のうち1名辞退

【助成対象者（5期生）】5名

コース	氏名（所属）	留学先（期間）	留学の概要
学生留学	上野 瞭子 （北海道大学）	フランス （10カ月）	北海道経済の活性化を実現するため、海外進出をサポートできる弁護士を目指す
	酒井 友希 （札幌大学）	フィンランド （10カ月）	環境に優しい観光を実現するため、自然ツーリズムにおける観光システムを学ぶ
	幡谷 省悟 （北海道大学）	アメリカ （5カ月）	北海道の一次産業発展に貢献するため、アメリカの農業生産を学ぶ
	藤原 香夏 （北海道教育大学岩見沢校）	カナダ （12カ月）	スポーツによる観光の発展と道民の生活の質の向上を図るため、カナダでスポーツツーリズムを学ぶ
スポーツ	太田 ゆき菜 （HOKKAIDO ADAPTIVE SPORTS）	アメリカ・カナダ （12カ月）	パラスポーツの発展に向け、スポーツと医療の連携、国際レベルのクラス分けを学ぶ

※新型コロナウイルスの影響により、留学を延期していた第4期生1名を加え、令和4年度留学生6名を決定。

（参考：令和4年度留学生（第4期生1名））

コース	氏名（所属）	留学先（期間）	留学の概要
学生留学	大久保 辰哉 （小樽商科大学）	オーストラリア （4カ月）	スポーツで北海道の子供を元気にするため子供向けスポーツプログラムの運営方法を学ぶ

(2) 第4期生・第5期生の海外留学の状況

①第4期生

新型コロナウイルスの影響で留学を延期していた1名(学生留学コース 大久保辰哉氏)が9月に渡航するとともに、前年度から留学中の1名(文化芸術コース 北浦由花里氏)が11月に帰国。

②第5期生

現在、4名が海外に留学中。残り1名についても令和5年1月に出発予定。

<危険情報・感染症危険情報レベル2以上の国・地域への留学>

第4期生の1名について、海外渡航前感染症確認チェック表に基づきワクチン接種の状況等を確認し、助成を決定。(第5期生は全てレベル1になってからの渡航)

<考え方>

原則として助成しないが、国(文科省)の海外留学の方針に基づき、新型コロナウイルス感染症に限り、ワクチン接種を受けた上で、留学先の感染状況や感染防止対策、現地の医療体制の確認、帰国時の防疫措置、帰国ルートの確保、感染症に対応した保険加入など安全の確保を図ることを条件に助成を行う

(3) 助成見込額

	令和4年度予算	令和4年度助成見込額
学生留学コース	11,000千円(うち機構交付金390千円)	8,224千円(うち機構交付金390千円)
3コース	9,000千円	2,420千円(スポーツコース1名)
計	20,000千円	10,644千円

(4) 事前オリエンテーション、壮行会等

令和4年度留学生6名を対象に以下の日程で実施。

①事前オリエンテーション

日時：令和4年7月13日(水) / 開催形式：オンライン(ZOOM)

②壮行会

日時：令和4年7月22日(金) / 開催形式：オンライン(ZOOMウェビナー)

③帰国報告会

日時/開催形式：未定

(5) 留学説明会

令和5年度の募集に向けてほっかいどう未来チャレンジ応援事業についての説明会を開催。事業概要の説明のほか、海外留学者の経験談の発表、質疑応答などを実施予定。

(6) 広報活動

海外留学を通じて自らの資質向上を図り、北海道に貢献したい意欲を持つ若者の発掘や、北海道の若者の人材育成を支援する企業・団体等の輪を拡げるため、広報活動を実施。

①「みらチャレ通信」等の発行 2回(9月、3月(予定))

②ポスター、リーフレット等の作成

北海道の若者の海外留学の挑戦を応援する基金への寄附と北海道に貢献する意欲を持ち海外留学に挑戦する若者を募集するポスター、リーフレット、チラシを作成

③ウェブサイト・SNSを活用した広報

道のホームページやYouTube、フェイスブック等のSNSを活用した広報を実施

2 北海道未来人財応援基金の運営

(1) 基金残高

78,077千円(令和4年5月末)

(2) 寄附の依頼・募集活動等

ほっかいどう未来チャレンジ基金事業を継続していくため、企業等へ個別訪問を実施し、寄附の協力を依頼するとともに、商品の販売など連動した取り組みなどを実施。

① 企業・団体、個人からの寄附・負担金 (R4.11月末現在)

令和4年度 寄附申出者数 企業・団体30件 総額 11,415,546円

② 企業と連携した取組

・大王製紙(株)

「エリエール北海道ティッシュなまらたっぷり」シリーズの売上の一部を基金へ寄附(10月から新たに4商品を追加)

・(株)北海道銀行

「道銀SDGs私募債」で、私募債を発行する企業が基金への寄附を指定した場合に、北海道銀行が受け取る手数料の一部を基金へ寄附

・合同会社North Create

古本募金ハッピープロジェクト「ハピぼん」と連携し、寄贈いただいた古本等の買取代金を基金へ寄附

・(株)北洋銀行

(株)北洋銀行が発行する「ほくようレポート」令和4年12月号に「ほっかいどう未来チャレンジ基金」への寄附募集広告を無料掲載

・イオン北海道(株)「ほっかいどう未来チャレンジ応援募金」

道内167店舗等において募金箱を設置し、募金額を基金へ寄附
実施期間： 令和4年6月1日(水)～7月31日(日)

(3) 寄附企業等への知事感謝状贈呈式

基金へ一定額以上を寄附いただいた企業等に対して、知事感謝状を贈呈。

① (株)HBA

贈呈日：令和4年5月10日(火)／場所：道庁本庁舎3階知事会議室

② 日糧製パン(株)

贈呈日：令和4年5月30日(月)／場所：道庁本庁舎3階知事会議室

③ (株)北海道銀行

贈呈日：令和4年8月22日(月)／場所：道庁本庁舎3階知事会議室